

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

いわき経済同友会

6月号/2012年6月1日発行

3つの目的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

5月16日(水)

5月通常例会

○会場/いわき建設会館

テーマ 「福島経済といわきの復興—マクロ政策からの視点」

講師 元日本銀行福島支店長 現 復興庁政策 参与 鉢村 健氏



【復興庁政策参与鉢村 健氏の講演】

昨年10月と今回は2度目の講演ですね。前回は申しましたが30年前、日銀入行後すぐの転任先が福島支店、そして5年前福島支店長として3年間務め、震災後転任先のベトナムより自ら希望して福島に戻って参りました。

さて震災後1年2ヶ月が過ぎ、今日は復興庁政策参与の立場を越え、私からの参考意見を皆さんに聴いて頂きたいと思います。レジュメを作ってまいりましたのでこれに添ってお話し致します。

福島経済といわき復興 —マクロ政策からの視点

福島復興の現状と疑問

●現状の問題点

- ・被災者の将来不安（健康不安と生活基盤の不透明さ）
- ・県民の放射線不安（低線量被ばくに関する右往左往）
- ・国民的な理解不足（福島特殊論にどう向き合うか）

●素朴な疑問点

- ・「放射能除染と賠償確定と雇用確保」は実現するのか。
- ・「双葉は一つ」と言うのが国県町村の協議は纏まるのか。
- ・「福島復興バブル」と言うのが政治経済は大丈夫なのか。



左から寺主君男代表幹事、高萩和義さん(5月22日生)、

経済産業省“世界の放射線量”の資料から、世界ではラムサール(イラン)では1年間平均値17.5mSv、ボルダール(アメリカ)4.5mSv、スペイン0.82mSv、ドイツ0.72mSv、日本0.6mSv、日本国内を見ると東日本より西日本が高い。低線量被ばくと健康との関係についてのデータが今のところ無く、さまざまなご意見はありますが、専門家の意見をきちんと聞くことが大切だとおもいます。

間違いだらけの福島経済の見方

●現時点の景気評価

- ・大規模な自然災害後の消費爆発は当たり前(例外なし)。
- ・その消費増加がいつ反動減に向かうかの見極めが重要。
- ・「消費→生産→投資」の好循環は本当に発生するのか。
- ・福島県総生産(7.7兆円)はどの程度減少しているか。
-福島県経済の「着実な持ち直し」とは何のことか。

●長期的な福島県経済の行方

- ・福島県の「人口減少問題の怖さ」を訴える人がいない。
- ・福島県内人口自然減と社会減を甘く見てはいけない。
- ・バランスシートの資産と負債が両建てで急減する可能性。
-福島県経済の「負の連鎖」を回避する為の挺入れ。

福島県には“あれだけのお金が入っているから大丈夫でしょ”といわれます。これは、東京から西に行けば行くほど顕著です。“福島は潤っているよね”銀行を例にとってみると、預金金額が昨年比1割伸びました。つまり、県民の貯金が7,000億ふえました。

しかし、これは大変危険です。福島からもっと情報を発信していかなければならないと思います。

震災前から続く福島経済の課題

- 3.11以前と以後を混同すると処方箋を間違う
- 復興需要で好景気が到来と踊らされてはダメ

■誤解■

- ①福島県の人口流出は原発災害後に発生
-毎年1.2万の人口減少と高齢化の進行に直面していた事実
- ②福島県の耕作放棄地は原発災害後に発生
-全国1位の耕作放棄面積(販売農家 1.1万ha)が続いている事実
- ③福島県の工業製品出荷額は東北随一を堅持
-いわき市(東北1位)と仙台市(東北2位)は肉薄していた事実

今までのお話で皆さんだんだん暗くなって頭が下がってきました。私も困ってしましますが、でも、皆さん“いわき”は大丈夫です。急に態度を変えますが、“さあ、皆さん頑張りましょう!”“いわき”は人が集まっています。他にこんな所はありません。震災後、道は混んで、病院でも長い時間待たされる等、いろいろな問題が起きていますが人が増えれば経済が大きくなることです。他から来た方々は早く同化し、また、受け入れる側も、施設の充実や教育の充実等を図って行くことが大切だと思います。

「南北振興」から「東西振興」へ

- ~明治以降の社会整備方針を大転換すべき
- ・明治以降の社会資本投資は「中通り」が中心
⇒「県中」の安積疎水事業
「県北」の官公庁整備
⇒国有鉄道と国道の精美事業
(次いで大量輸送化・高速化)

- ・エネルギー供給基地作りは「浜通り」が中心
⇒「いわき」の常磐炭田
(常磐線と小名浜港の活用)
⇒勿来発電所は常磐再生の核

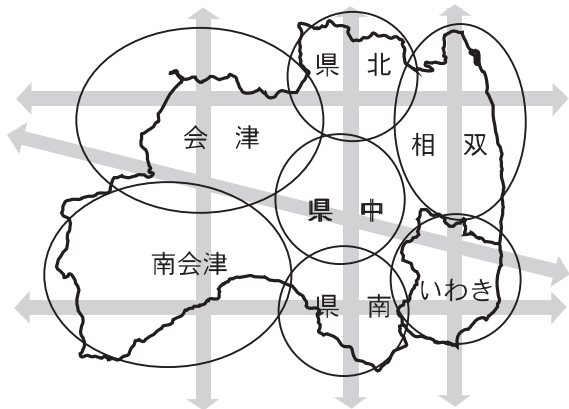
- ・昭和のエネルギー政策で登場した「只見川発電」「双葉原発」

「東西振興」と「豊かさ」を求める

- ~アジア連携を見据えた県内横断構想
- ~小さくても、豊かで高品質な生活を

◎東西整備を軸に据えた県内の“十字連携”

- (1)小名浜港と新潟港の連携強化を側面から支援する。
- (2)福島県と国の連携に加え、アジア連携を模索する。
~短期は観光と雇用、中期は交通整備、長期は産業連携が課題



◎福島県の最大の課題は“県全体の人口減少”

- (1)福島県の人口減少をどの地域が支えられるか
- (2)避難者増加の後には人と企業の県外流出が加速する。
- (3)福島県を世界最先端の〇〇産業都市にできないか。
~福島県には夢が必要、実現できるもの勝てるものを探そう。

FMいわき「いわき経済同友会だより」

下記の日時にオンエア放送いたしますので、お聴き下さい。

【6月予定放送】

- ・6月4日 会員増強委員会 佐久間一枝氏
- ・6月11日 経済特区研究グループ 清水良祐氏
- ・6月18日 例会委員会 小沼郁互氏
- ・6月25日 研修委員会 小松ひと美氏

●毎週月曜日 17時45分からです。(約5分間)

5月グループ会報告

経済特区研究グループ会

■日 時 5月24日(木曜日)18:30~
■場 所 建設会館

5月度のグループ会はグループメンバーであり常任幹事でもある大和田さんに「小名浜港について考える」と題し都市戦略として考える小名浜港のありかたについて震災後の他港湾の対応との比較を含め多くのデータにてお話を頂きました。

《主な内容とポイント》

1. 都市戦略として考える小名浜港のありかた

①小名浜港は石炭の荷揚げ港から商業貨物流通港への転換に乗り遅れている。

・FAZ(輸入促進地域)に乗り遅れ。仙台、八戸等に先を越される。

②同友会では大連市への視察で物流拠点創設を訴えている。

※日本のコンテナ貿易港は現在中国や韓国の貿易港に追い越され水を空けられる。

2. データに見る小名浜港の地盤沈下

①コンテナ扱い実績の減少傾向

②実入り外貨コンテナ量の減少化傾向

③TEU(20フィートコンテナ)輸出入伸び率の低さ

3. ポートセールスの実態

①英文パンフレットもなかった実態

②本気度に欠けるセールス活動

4. ハード・ソフト面での小名浜港の問題点

①施設・利便性に欠ける内容と市・県の対応(コストとサービス)

5. TPPと小名浜港

①TPPは国際物流港として新しい成長の舞台となるチャンス。

②ただし、早急にハード・ソフト両面の再構築必要

6. 震災復興特区

①震災後の復旧の遅れ

②総合リゾートとしてカジノ誘致:港/温泉の活用でコンベンション都市いわきへ



ました。

観光特区(カジノ特区)についての第一回勉強会を関係諸団体にも参加頂き、議論の場を広げ、今後いわき市としてどのように取り組むかの方向性を定めていきたい。

カジノに対しての基礎知識を共有し、メリットデメリットを客観的に議論できる環境をまずは確立することが大切。ただ、全国各地からカジノ特区推進の声が上がっている事実を踏まえ、早急に方向性を示すべきと考える。

案内送付先 経済26団体、市役所等

スポーツ交流グループ会

■日 時 5月23日(水曜日) 9:35スタート
■場 所 小名浜カントリークラブ

あいにくの強風注意報の中、グループ会メンバー以外の会員の方にも参加していただき5組(17名)にて開催し会員相互の親睦を深めました。

優勝は小沼幸誠さん、準優勝は阿部好則、3位は三室啓記さん、BB賞は箱崎洋一さんでした。



資質向上グループ会

■日 時 5月12日(土曜日)
■場 所 国道289号線~棚倉町方面

晴天に恵まれ、9名にて予定のコースを塚本・吉田・須藤さんの車両にて出発。

1. 株伊奈養鶏場 須藤会員の紹介により訪問し、斉藤社長より詳細な説明を受ける。養鶏場は東白川郡阿武隈高原の標高650mの自然環境に恵まれたところに立地していて鶏の健康を保つ事を第一に考え日々の飼育管理を行い、良質な卵を生産している。なかなか見る機会のない養鶏施設の見学に感謝し工場を後にする。
2. 江籠田の滝 丁度つつじが満開で江籠田の滝とマッチしていて素晴らしい景観でした。
3. 昼食は少し早めに「みちの駅 塙」にて皆さんのお好みで食事を摂り、地場食品の買い物!
4. 八槻都々古別神社 馬場都都古別神社を上之宮、近津神社を下之宮とする近津三社の1つとされ、奥州一宮として広く民衆の信仰の対象となっていました。創建には日本武尊が関わっていて、源義家を始め、白河結城氏や佐竹氏など歴

まちづくり観光グループ会

■日 時 5月23日(水曜日)12:00~13:30
■場 所 グランデ・レガロ

第2回グループ会を公開で行う旨の打ち合わせを行い

代領主や徳川光圀や斉昭など太守が崇敬していました。

5. 山本不動尊 平城天皇大同2年弘法大師此の靈窟を御開創護持佛不動尊像を安置す。靈験あらたかな不動尊として世に知られており、奥の院は溪流を眼下に50mの巨巖の洞窟に安置された世にも稀な靈場である。
6. 棚倉城址 棚倉城は関東と東北の境目にあることから、親藩・譜代の大名が治める城でしたが、慶応4年(1868)の戊辰戦争によって城下の一部と共に焼失しました。
7. 古殿八幡神社建久(けんきゅう)年中、鎌倉將軍頼朝より竹貫の領主、永樂錢五貫文の社領地が下賜され、時の領主がそれを記念して領内の兵士達による鶴岡八幡宮で奉納されている流鏝馬・笠懸を神事として奉納するようになった。

マスコミ懇談会開催 企画総務委員会

5月18日マスコミ7社と懇談会を開催致しました。

- ①寺主代表に挨拶、同友会の活動報告を頂きました。
- ②自己紹介を含めたグループ・委員会の活動報告をしました。
- ③小野副代表の乾杯後、懇親を深めました。

各グループ、委員会、研究会の活動をマスコミ各社に理解して頂きました。

そして、いわきの為に、お互い協力して行く事を誓い、中締め!



いわきブランド研究会

- 日時 5月17日(木曜日)16:30～
- 場所 ビアラッティ (小名浜住吉)

メンバーの紹介及びカジキ料理コンテスト準備の進捗状況について。

- 1) いわきブランド研究会平成24年度のメンバー及びカジキグルメ実行委員会について。
- 2) いわき市ふるさと産品育成事業補助金について。
- 3) 第2回カジキ料理コンテスト応募者と審査委員について。
- 4) 一次審査及び二次審査について。
- 5) 賞品について。
- 6) グルメマップ作成について。
- 7) その他。

以上の議題について打ち合わせを致した後、当会メンバー脇山氏がオーナーのダイニングバー・ビアラッティにて懇親会を行いました。



新入会員紹介

皆様宜しくお願ひします



たかはら しげみ
高原 繁美

(株)エフライン 代表取締役
業種/運送業
会社所在地 〒972-8318
いわき市常磐関船町大平2番10



たかはし じゅん
高橋 潤

(株)伊藤園 いわき支店長
業種/茶類卸販売業
会社所在地 〒970-8034
いわき市平上荒川字堀ノ内20-7

6月通常例会開催

6月19日(火) ○会場/椿山荘 ○会費/5,000円

講師 国土交通省 小名浜港湾事務所長 魚谷 憲氏

テーマ(仮) 「港湾からみた福島復興といわきの復興について」

○18:30 ~ 例会
19:00 ~ 講演会
20:30 ~ 懇親会

いわき経済同友会 ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
http://www.seaiwaki.jp
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp

発行集 いわき経済同友会 寺主君男代表幹事
情報委員会 委員長 坂本和久
副委員長/阿部晴康・小野英典・鈴木清友・
竹内康照
委員/山崎勇一郎